



殺菌剤

炭酸水素ナトリウム・銅水和剤

# サンケイ ジーファイン<sup>®</sup> 水和剤

農林水産省登録 第 19687 号

性状：類白色水和性粉末45 $\mu$ m以下

毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

有効年限：4年

包装：250g $\times$ 40、500g $\times$ 20

有効成分：炭酸水素ナトリウム・・・46.0%

無水硫酸銅（銅水溶性塩（PRTR・1種））

・・・30.0%（銅として12.0%）

殺菌剤分類 **NC、M1**

ジーファイン<sup>®</sup>は協友アグリ(株)の登録商標です。

## 特 長

- 作用機構から耐性がつきにくく、他剤の耐性菌にも有効です。
- 食品添加物として認可されている炭酸水素ナトリウム、無水硫酸銅は安全性が高いことから有機農産物生産に使用できます。

## 適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	炭酸水素ナトリウム を含む農薬 の総使用回数	銅を含む農薬 の総使用回数	
野菜類 (なすを除く)	白さび病	1000倍	150～ 500 $\ell$	収穫前日 まで	-	散布	-	-	
	うどんこ病	750～1000倍							
	軟腐病	1000倍							
きゅうり	斑点細菌病	750～1500倍							
	灰色かび病	1000倍							
トマト ミニトマト	疫病 葉かび病 すすかび病	800倍							
	なす	うどんこ病							1000～ 2000倍
黒枯病		1000倍							
レタス 非結球レタス	腐敗病	1000倍							
ばれいしょ さといも	疫病	1000倍							
こんにゃく	葉枯病	500倍							
せんばり	さび病	1000倍							
かんしょ	基腐病								200～ 300 $\ell$
かんきつ	かいよう病	750～1500倍							200～ 700 $\ell$
西洋なし	輪紋病	500倍							

## 使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いぎってください。
- 本剤は、水中に没しにくいので所定量の水に少量づつかくはんしながら加え、均一に分散させて散布液としてください。
- 本剤は、病害の発生初期から予防的に散布してください。なお、多発生の場合は効果が劣ることがあるので、所定範囲の高濃度で使用してください。
- きゅうり、すいか、メロンに使用する場合、葉害が生じるおそれがあるので、幼苗期の散布はさけて中期以降に散布してください。
- きゅうり、すいか、メロンに使用する場合、高温時、極端な低温時及び湿潤状態が長時間続く場合の散布は、葉害の症状が激しくなることがあるのでさけてください。

- きゅうり、すいか、メロンに使用する場合、連続散布は葉の周辺が黄化したり、硬化することがあるので、過度の使用をさけてください。
- レタスに使用する場合、高温時や結球開始以降の葉害が発生しやすい時期の散布では、炭酸カルシウム水和剤を加用してください。
- 非結球レタスに使用する場合、収穫葉展開以降の散布は汚れを生じることがあるので注意してください。
- パセリに使用する場合、生育が緩慢な時期には、汚れを生じることがあるので注意してください。
- チンゲンサイに使用する場合、収穫葉展開以降の散布は葉害を生じるので使用をさけてください。
- かんきつに使用する場合、葉害(スターメラノーズ)軽減のため炭酸カルシウム水和剤を加用してください。特に果実着生期の散布では厳守してください。
- かぶ、非結球アブラナ科葉菜類に使用する場合、葉害を生じるおそれがあるので注意してください。
- さといもに使用する場合、葉の褐変、葉先の枯れなどの葉害が生じるおそれがあるので注意してください。
- 西洋なしに使用する場合、葉害軽減のため炭酸カルシウム剤(クレフノンなど)を加用(80倍)してください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

## 安全使用上の注意事項

- 誤飲、誤食などのないようにしてください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。
- 散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。

## 水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物(魚類、甲殻類、藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

## 保管に関する注意事項

- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。また、吸湿しやすいので開封後長期間の保存はさけてください。